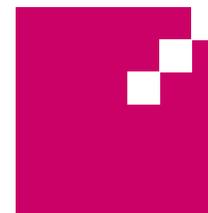


株式会社カンセキ 第33期決算説明資料

2007年7月23日



株式会社カンセキ

平成19年2月期の総括

当社を取り巻く環境につきましては、当社が事業展開をするドミナントエリア内において、業種業態を問わず新規出店の圧力が高く、小売業において業態を越えた企業間の競合がさらに激化しております。また、都市部と地方での経済格差は依然としてあるなかで、個人消費は概ね横ばい状態が続いており、当社にとりましても厳しい環境でありました。

このような環境の中、新規店舗としてホームセンターを1店、オフハウスを1店、出店いたしました。

この結果、売上高は318億41百万円（前年同期比0.5%増）となり、利益面におきましては、新店舗のオープン時経費や人件費等の販売費及び一般管理費の増加はあるものの、商品在庫管理の徹底や仕入政策の改善により営業利益は7億46百万円（前年同期比15.4%増）、経常利益は2億13百万円（前年同期比141.5%増）となりました。しかし、当事業年度から「固定資産の減損に係る会計基準」の適用がなされたことにより、減損損失2億91百万円などを計上した結果、当期純損失が1億32百万円となりました。

今期の主要トピックス

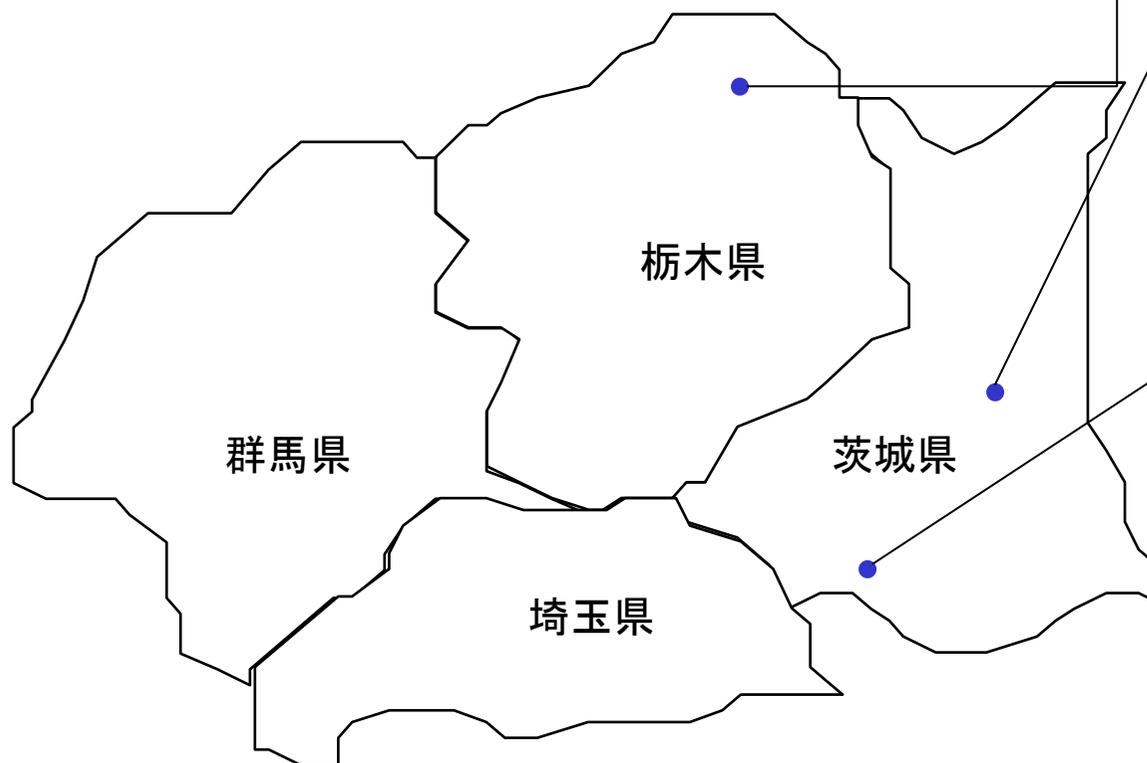
1. 新規オープン店舗

(1) ホームセンター龍ヶ崎店(平成18年11月24日オープン)

(2) オフハウス黒磯店(平成18年4月7日オープン)

2. リニューアル・オープン店舗

ホームセンター那珂店(平成18年7月26日オープン)



新店 オフハウス黒磯店



改装 ホームセンター那珂店



新店 ホームセンター
龍ヶ崎店



平成19年2月期貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

資産の部				負債の部			
	今期	前期	前期比		今期	前期	前期比
流動資産	7,074	7,740	91.4%	流動負債	11,351	11,666	97.3%
たな卸資産	5,078	5,899	86.1%	短期借入金	5,673	5,200	109.1%
その他の流動資産	1,995	1,841	108.4%	一年以内返済予定長期借入金	1,255	2,482	50.6%
固定資産	22,294	23,027	96.8%	その他の流動負債	4,422	3,983	111.0%
有形固定資産	16,947	17,347	97.7%	固定負債	13,790	14,665	94.0%
無形固定資産	697	716	97.5%	社債	343	449	76.4%
投資その他の資産	4,649	4,963	93.7%	長期借入金	11,585	12,341	93.9%
繰延資産	4	13	31.7%	その他の固定負債	1,861	1,875	99.3%
				負債合計	25,141	26,331	95.5%
				資本の部			
				資本金	—	1,926	—
				資本剰余金	—	1,864	—
				利益剰余金	—	802	—
				株式等評価差額金	—	39	—
				自己株式	—	△ 182	—
				資本合計	—	4,450	—
				負債及び資本合計	—	30,781	—
				純資産の部			
				株主資本	4,214		
				資本金	1,926		
				資本剰余金	1,864		
				利益剰余金	632		
				自己株式	△ 208		
				評価・換算差額等	17		
				純資産合計	4,231		
資産合計	29,373	30,781	95.4%	負債及び純資産合計	29,373		

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

平成19年2月期損益計算書(要約)

(単位:百万円)

	今 期	前 期	前期比	備 考
売上高	31,841	31,690	100.5%	ホームセンターを1店舗、オフハウス1店舗の新規出店による増加
売上総利益	8,537	8,374	102.0%	在庫改善や仕入価格交渉などによる売上総利益率の改善
販管費	9,207	9,134	100.8%	新規出店2店舗のイニシャルコスト増など
営業利益	746	647	115.4%	
経常利益	213	88	241.5%	支払利息が前期に比べ、40百万円減少
当期純利益又は 当期純損失(△)	△ 132	51	—	「固定資産の減損に係る会計基準」の適用による減損損失291百万円など

(注)記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

平成19年2月期株主資本等変動計算書(要約)

(単位:百万円)

	株主資本					評価・換算 差額等合計	純資産合計
	資本金	資本剰余金 合計	利益剰余金 合計	自己株式	株主資本 合計		
平成18年2月28日残高	1,926	1,864	802	△ 182	4,410	39	4,450
事業年度中の変動額							
剰余金の配当			△ 37		△ 37		△ 37
当期純損失			△ 132		△ 132		△ 132
自己株式の取得				△ 25	△ 25		△ 25
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)						△ 22	△ 22
事業年度中の変動額合計	—	—	△ 170	△ 25	△ 196	△ 22	△ 218
平成19年2月28日残高	1,926	1,864	632	△ 208	4,214	17	4,231

キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

	今期	前期	前期差
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,879	633	1,246
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 145	△ 165	20
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,677	△ 592	△ 1,085
現金及び現金同等物の増減額	56	△ 124	181
現金及び現金同等物期首残高	952	1,076	△ 124
現金及び現金同等物期末残高	1,009	952	56

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

営業活動によるキャッシュ・フローの内訳

- ・ 主に税引前当期純損失1億10百万円、減価償却費4億76百万円、たな卸資産の減少額8億20百万円及び減損損失2億91百万円の発生などによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローの内訳

- ・ 主に新規出店2店舗、店舗リニューアル1店舗などの有形固定資産取得による支出3億38百万円及び差入保証金・敷金の支出77百万円がありますが、差入保証金・敷金の回収による収入3億66百万円との相殺後の純額であります。

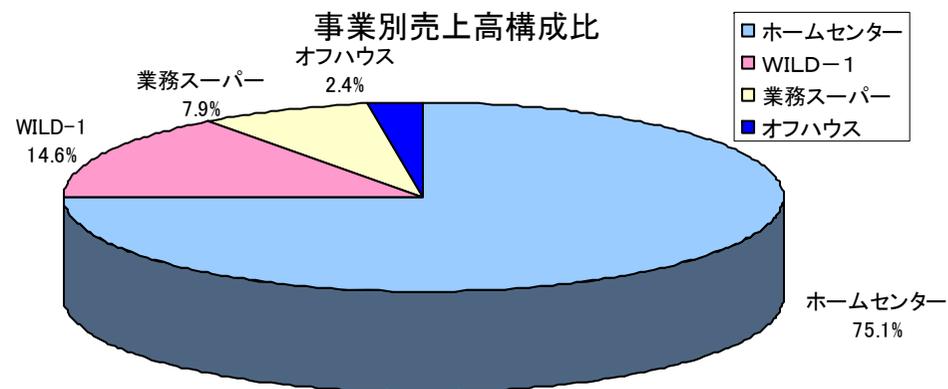
財務活動によるキャッシュ・フローの内訳

- ・ 主に社債の償還及び借入金の返済によるものです。

事業別売上高

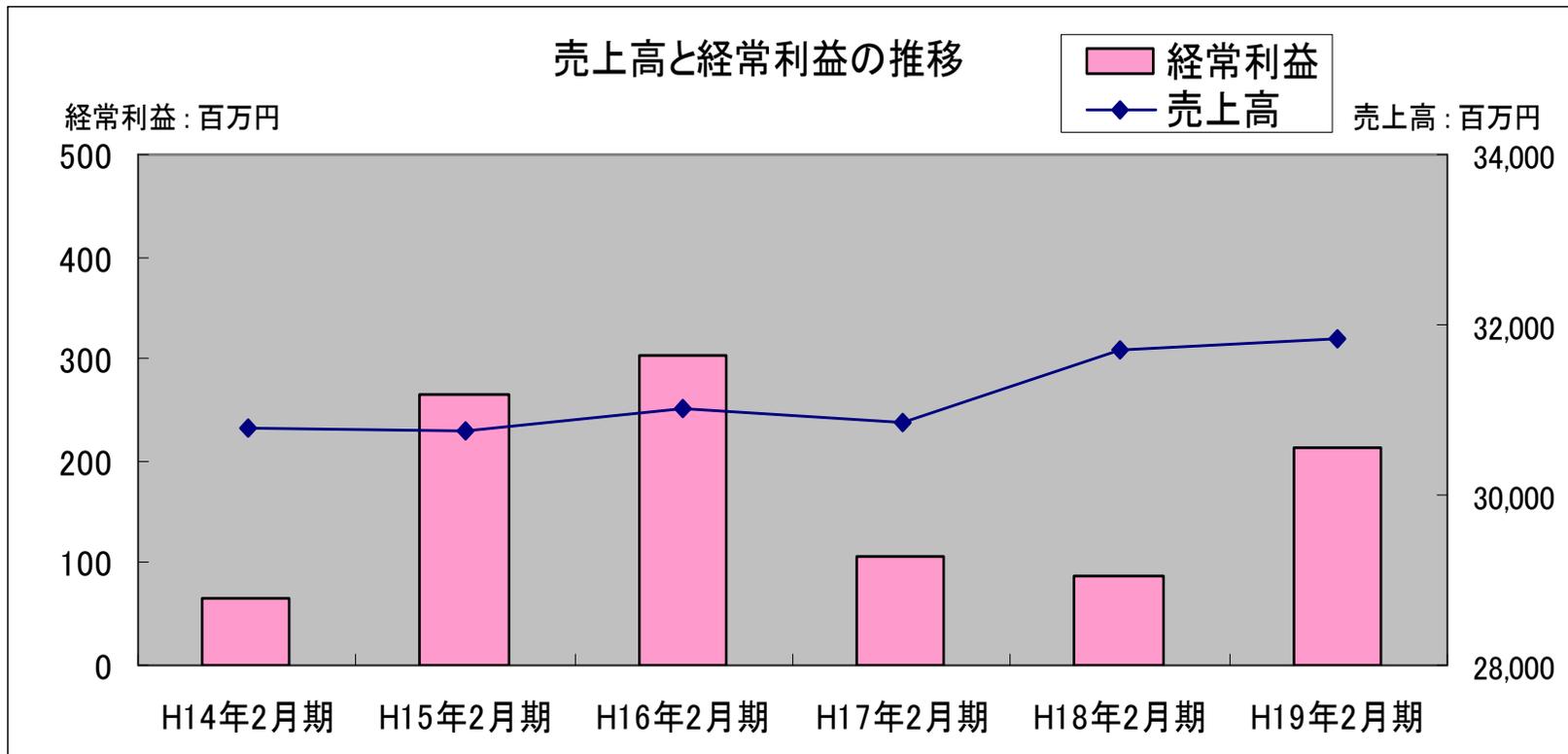
事業		売上高(百万円)	前 期 比	構 成 比
ホームセンター	DIY用品	10,174	100.1%	32.0%
	家庭用品	6,194	96.0%	19.5%
	カー・レジャー用品	7,528	100.3%	23.6%
	計	23,898	99.1%	75.1%
WILD-1		4,655	99.0%	14.6%
業務スーパー		2,517	111.4%	7.9%
オフハウス		770	126.8%	2.4%
全 社 計		31,841	100.5%	100.0%

- 事業別の主な取扱商品は、次のとおりであります。
 - ・DIY用品 素材、金物、エクステリア、植物、園芸用品、住設機器等
 - ・家庭用品 日用品、家庭用品、インテリア、菓子食品等
 - ・カー・レジャー用品 カー用品、ペット用品、文具、スポーツレジャー用品、自転車等
 - ・WILD-1 アウトドア用品
 - ・業務スーパー 業務用食材等
 - ・オフハウス リサイクル商品
- オフハウス事業の増加は、新規店舗増加によるものであります。



売上高・経常利益の推移

	H14年2月期	H15年2月期	H16年2月期	H17年2月期	H18年2月期	H19年2月期
売上高	30,777	30,739	31,026	30,840	31,690	31,841
経常利益	65	266	304	106	88	213



ご注意

- 本資料は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。
- また、本資料は投資勧誘を目的に作成されたものではありません。投資を行う際には、投資家ご自身の判断で行うようお願いいたします。

本資料に関するお問い合わせ
株式会社カンセキ 総務部
TEL 028-658-8123
FAX 028-659-3678